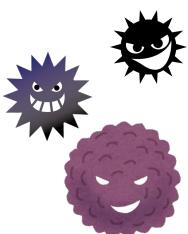


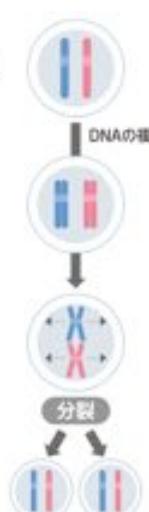
病気対処術 〈がん・癌編〉



がん — 遺伝情報の突然変異 —

細胞の核内にある遺伝情報を記録しているDNAが、細胞分裂の際に誤って複製されたり、紫外線や放射線、化学物質などに曝されることによって傷ついて、変異してしまうことがあります。これが本来の細胞とは異なったがん細胞発生の始まりです。人体には数十兆個の細胞が存在しますので、実はこのようなDNAの複製ミスは頻繁に起こっています。

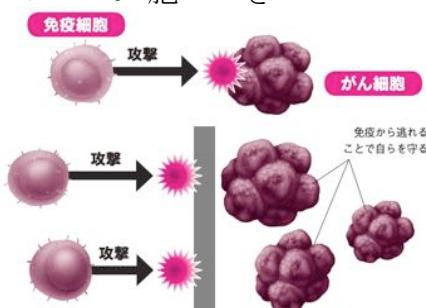
がん — 細胞の異常分裂 —



正常な細胞分裂では遺伝子であるDNAの複製が正しく行なわれ、2つに分かれていきます。DNAには複製されない部位があり、細胞分裂の度にその部分は切れて短くなっています。その複製されずに短縮していく部分を複製させる特殊な酵素があり、がん細胞は突然変異によって、この酵素を獲得してしまいます。それによってDNA複製の限界を解除し、無限に近い複製が可能となり、増殖し続けるのです。

がん — 免疫細胞から逃れる —

白血球中のリンパ球は、免疫細胞として働き体内の細菌などの異物をやっつけて退治します。健康であれば、がん細胞もこれら免疫細胞によって退治されます。ところが、がん細胞の中には、免疫細胞の働きを抑える作用を持った、リンパ球の攻撃から逃れるものがいるのです。



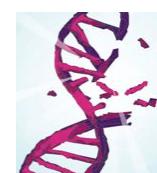
光和堂の病気対処術；がん・癌編

現在、日本人の男性は四人に一人、女性は六人に一人ががんで亡くなっています。社会の高齢化とともに、今後がんの罹患率は上昇すると予想されますが、新しい検査法や治療法の開発が進み、生存率は上昇してくるでしょう。そこで、がんと上手に付き合つていくことが必要となります。「敵を知り己を知れば百戦危うからず」という孫子の言葉にあるように、まずがんという病気を正しく理解しましよう。そして、ご自身の病状を正確に把握して、最適な治疗方法を見出しましょう。がんと上手に付き合つていくことは決して容易ではありませんが、さまざまな可能性があります。一人で悩まずご相談ください。応援します。

数十兆個の細胞から成る身体



人間の身体は、一個の受精卵からスタートして、繊細かつ精巧なプログラムがあつて分化増殖して、数十兆個の細胞から成り立っています。その生体は、赤血球などの血液細胞や皮膚の上皮細胞、筋肉細胞、神経細胞など二〇〇～三〇〇種類の細胞が集合して、組織や臓器を作っています。これらの細胞は常に再生と死を繰り返しています。その生体は、赤血球などの細胞は常に再生と死を繰り返しています。それぞれの組織や臓器の働きを全うして、生命を維持しています。特に血液や皮膚、毛髪などの細胞は、再生が盛んですが、神経細胞や心筋細胞はほとんど再生しません。再生時には細胞分裂が起ります。その一方で古い細胞が死を向えて、最適な細胞数を維持するように調整されています。また、細胞分裂には限界があり、それが老化や生命の長さを決めています。



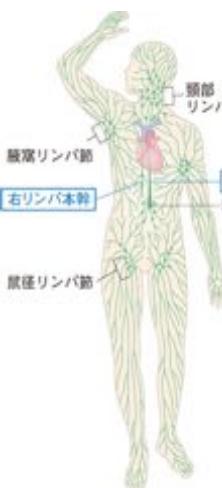
光和堂の病気対処術；がん・癌編

このように、がん細胞は遺伝情報の突然変異に始まり、異常な増殖能を獲得し、さらに免疫細胞から逃避し生き残るといった2つの関門をすり抜けていくのです。そして、生き残りを集合させて数を増やし、周りの正常な細胞を邪魔していき、組織や臓器の働きを全くできなくなるのです。

免疫力を強化してがん細胞を逃さない

がん細胞は、だれにでもできる可能性があります。しかし、健康で十分な免疫力があれば、がん細胞が監視から逃げる前に、免疫細胞が退治してくれます。ところが、そこに慢性的な不摂生や過労、ストレスが続くと、免疫力が低下し、芽生えたがん細胞は容易に免疫細胞の攻撃から逃れてしまします。がん細胞をやつづける力は、だれもが持っています。これを十分に発揮させましょう。

リンパ液の流れを促進する



を高めることにあります。まずは、病気になる前に病の萌芽を見つけ予防と早期治療をすることです。そして、だれもが潜在的に持っているがん細胞を打ち負かす力を、フルに発揮させることです。漢方薬は各臓器の働きを高め、さらに免疫力を増強します。がんの予防にも応用されます。鍼灸治療は、ツボを通して各臓器に刺激を伝え内臓の働きを高め、さらに全身を治療することでリンパ液の流れを促進して、免疫力を活性化します。

がん術後と抗がん剤副作用への対策



手術や抗がん剤による治療の後は、だるくなり気力と体力がどうしても低下してしまいます。まずはゆっくりと休息を取り、水分と栄養を上手に補給して、体力を回復しましょう。また抗がん剤を継続する場合は、副作用に負けないように体力と精神力を維持する必要があります。漢方薬は副作用を軽減し、抗がん剤治療を継続できるようお手伝いします。さらに免疫力を高めて、がんの進行を抑えることができます。

抗がん剤副作用対策

悪心嘔吐…半夏瀉心湯	食欲不振…六君子湯
体力免疫力低下（消化器）…十全大補湯	
体力免疫力低下（呼吸器）…人参養榮湯	
不安感・不眠…加味帰脾湯	
下痢・腹痛・排便コントロール悪い…大建中湯	
手足のしびれ・指先の荒れ…当帰四逆加吳茱萸生姜湯	
脱毛・唇荒れ・肌荒れ…温経湯	
腹水…補氣健中湯	



東洋医学の基本発想は、「未病を治す」とこと、「自己の治癒力」によるがんの予防と免疫力アップ

脱毛・唇荒れ・肌荒れ…温経湯

腹水…補氣健中湯